

じもと

HOLDINGS

2020.9

MINI DISCLOSURE

じもとホールディングスミニディスクロージャー誌



きらやか銀行



仙台銀行

ごあいさつ

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

当グループでは、新型コロナウイルスの影響を受けられたお客さまにいち早く対応するべく、きらやか銀行、仙台銀行がそれぞれ「本業支援緊急対策室」、「新型コロナウイルス感染症対策地元企業支援チーム」を立ち上げ、早期の資金対応、本業支援に取り組んでおります。厳しい環境が続いておりますが、共にこの難局を乗り越えるべく、地域金融機関の責務として、役職員一丸となり真にお客さまから喜ばれる本業支援を愚直に実践する強い覚悟をもって

取り組んでまいりますので、引き続き宜しく願いいたします。

さて、「顧客本位の本業支援」「統合効果発揮」の2つをキーワードとするじもとグループの中期経営計画は最終年度となりました。

「顧客本位の本業支援」においては、本業支援を真に必要なとしているお客さまのもとへ足を運び、しっかりと寄り添うことで生まれるお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展・地方創生に向けた取り組みを行ってまいりました。

また、「中小企業成長戦略」や「仙台地区営業戦略」などで一定の成果を挙げると同時に、未曾有のコロナ禍においては「今こそ本業支援」を合言葉に、グループ一丸となりお客さまへの本業支援に総力を挙げて取り組んでおります。



本社所在地	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号	022-722-0011(代表)
設立年月日	2012年10月1日
資本金	170億円
上場取引所	東京証券取引所
ホームページ	https://www.jimoto-hd.co.jp/



本店所在地	山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号	023-631-0001(代表)
設立年月日	2007年5月7日
資本金	227億円
預金・譲渡性預金	13,021億円
貸出金	10,512億円
従業員数	909人
店舗数	117カ店(県内98カ店、県外18カ店、その他1カ店)(注) (注)フランチャイズ・イン・プランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による 実質店舗数は62カ店(県内45カ店、県外16カ店、その他1カ店)。
ホームページ	https://www.kirayaka.co.jp/



じもと

HOLDINGS

「統合効果発揮」においては、グループ全体の組織・業務運営の更なる効率化・合理化を目指し「両子銀行のバックオフィスの統一、システム・帳票等の統一」や、「きらやか銀行事務センターへの業務集約」等、お客さまへの本業支援に一層力を注ぐことのできる態勢整備を進めてまいりました。

加えて、本年6月には両子銀行が監査等委員会設置会社へ移行しました。昨年移行が完了したじもとホールディングスも含め、じもとグループ全体の一層のガバナンス態勢強化を推し進め、皆さまから信頼される金融グループを目指しております。

皆さま方におかれましては、今後とも、じもとグループに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行頭取

鈴木 隆



株式会社じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行頭取

栗野 学

👁️ 仙台銀行

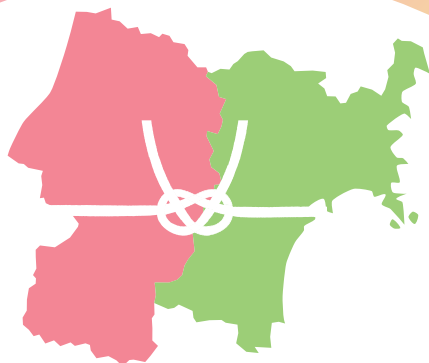
本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
 電話番号 022-225-8241(代表)
 設立年月日 1951年5月25日
 資本金 224億85百万円
 預金・譲渡性預金 11,958億円
 貸出金 8,018億円
 従業員数 750人
 店舗数 72カ店(注)
 (注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は52カ店(うち出張所2カ店)。
 ホームページ <https://www.sendaibank.co.jp/>

CONTENTS

ごあいさつ/会社概要	巻頭
グループの理念	02
中期経営計画の取り組み状況	04
本業支援事例 きらやか銀行	06
仙台銀行	07
トピックス じもとホールディングス	08
業績ハイライト じもとホールディングス	09
トピックス きらやか銀行	10
仙台銀行	12
業績ハイライト きらやか銀行	14
仙台銀行	16
株主の皆様へ	巻末

経営理念

お客さまに喜ばれ、信頼され、『じもと』とともに
進化・発展する新たな金融グループの創設



「じもと」をつなぐ、 あしたへつなぐ。

じもとグループは、宮城・山形両県にまたがる新たな金融グループとして、
両県の人・情報・産業を「つなぐ」架け橋となり、
共同商品の開発やサービスの向上、経営資源の戦略的な配分を通じて、
多面的な金融サービスを創造・提供し、
東日本大震災からの復興と地元経済活性化に
貢献してまいります。

じもとホールディングス

“私たちの想い”

本業支援を通して

地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から喜んでいただき地域と共に生きること。

財務の
本業支援

成長の為の
本業支援

福利厚生
の本業支援

きらやか銀行の本業支援の「3本柱」

宮城県の金融円滑化への貢献

行是

「信為萬事本」（しんをばんじのもととなす）

銀行は地域社会から信用されることが全ての基本であり、当然のことながらそこに働く役職員の行動においても同様でなくてはいけないということ。

中期経営計画の理念 ～我々は“なぜ”「本業支援」に取り組むのか?～

必要としている支援を受けられていない中小企業の皆さまの力となるため
地元の復興ならびに地方創生に貢献するため

じもと
グループの
目指す姿

- 「本業支援」でお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展・地方創生に貢献していく。
- グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる。
- グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する。

キーワード Keyword

顧客本位の
本業支援

統合効果発揮

2020年度 施策

未曾有のコロナ禍「今こそ本業支援!」

- 資金繰り対応チームの設置
- 休日相談窓口の設置

中小企業
成長戦略の深化

融資審査ノウハウの
共有・向上

非金利収入増加戦略

IT・FinTechの活用

営業店業務のプロセス効率化

店舗役割と
人員配置の見直し

バックオフィス、
事務の統一

子銀行の監査等
委員会設置会社移行

グループ監査
体制の強化

ESG・SDGsの情報開示

計数計画と経営指標

	2018/3期 (始期)	2019/3期 実績	2020/3期 実績	2020/9期(中間期) 実績
コア業務純益	44億円	41億円	48億円	37億円
当期(中間)純利益	34億円	18億円	19億円	2億円
コアOHR	85.27%	85.74%	83.13%	75.47%
預金平残	23,131億円	23,063億円	22,974億円	24,325億円
貸出金平残	16,689億円	17,029億円	17,505億円	18,044億円
自己資本比率	8.70%	8.39%	8.07%	8.29%
顧客向けサービス 業務利益(始期比増加額)	▲28億円 (-)	▲15億円 (+13億円)	▲7億円 (+21億円)	4億円 (+33億円)

※顧客向けサービス利益=貸出残高×預貸金利回り差+役員取引等利益-営業経費

2020年度上期の主な取り組み

コロナ禍、今こそ本業支援！

(金額単位:億円)

1. お客さまの資金繰り支援最優先

コロナ禍の中、本業支援を通してお客さまの資金繰り支援に最優先で取り組み、両行でコロナ関連融資を5,417件1,323億円実行しました。

	件数	金額
両行合計	5,417	1,323
プロパー	199	171
保証付	5,218	1,152
条件変更	559	186

2. コロナ関連マッチング増加

両行間ビジネスマッチングは、コロナ禍で商談会が実施できず、紹介件数は減少しましたが、コロナ関連のマッチングが牽引し、成約件数が60件(前期比+34件)となりました。

	紹介 件数	前年比	成約 件数	前年比
両行間 ビジネスマッチング	92件 (42件)	▲75件	60件 (41件)	+34件

※()内はコロナ関連の件数

ガバナンス態勢の強化

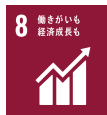
1. 子銀行の監査等委員会設置会社移行

本年6月に両子銀行は監査等委員会設置会社へ移行し、じもとグループの機関設計を統一しました。これにより、両行社外取締役が合わせて2名から6名となりガバナンス態勢が強化、両行監査部と監査等委員会連携によるグループの監査体制強化等が進展しました。

2. ESG・SDGsへの取り組み

今期より、じもとグループのESG・SDGsの取り組みをホームページで情報開示しています。上期は、両行合計31事例を公表しました。

新事業をスタート、事業計画作成から開業まで “ともコン”と二人三脚で実現！



工藤建築(有)様は鶴岡市湯野浜温泉地区で工務店を営んでおられます。

湯野浜地区で商工会会長も担う社長の工藤裕介様は、県内有数の海水浴場でもある当地区の利便性を高めるべく、当社にとっても事業メリットがあるコインランドリーの開業を検討しました。

新事業進出で不安を感じられる中、**当行で特別な研修を受けた「経営財務コンサルタント」、通称“ともコン”と二人三脚**で事業計画を作成し、コインランドリー事業を順調にスタートさせました。

当行はお客さまの想いとことん寄り添い、お客さまと「一心同体」の本業支援を行います！

経営者様の想い

湯野浜地区初となるコインランドリー開業で
観光地としての利便性を向上し、
当地区を活性化させたい！

Point 1 「コインランドリー」開業の検討を開始

経営者様の想いを受け担当者は、コインランドリー事業を取り扱う当行業務提携先の研修を受講。これをきっかけに湯野浜地区初となるコインランドリーの開業に向けて本格的に検討を開始しました。

Point 2 開業のお手伝いと事業計画書の作成

新事業開業にあたり、経営者様の不安を全面的にバックアップするべく共に生きるパッケージをご契約。ともコン担当職員と何度も協議を重ねながら事業計画書を作成し、新事業であるコインランドリー事業を軌道に乗せました。

Point 3 計画達成に向けた本業支援を継続中！

たとえば…「将来の従業員雇用に向けて」

- ・当行子会社のきらやかコンサルティング&パートナーズを通じて社労士をご紹介し、就業規則を策定。
- ・「ふっくりパッケージ」で福利厚生体制充実を図り、会社の魅力をUP！

永年の想いが
実りました！

▼工藤建築(有)様



工藤建築
有限会社
代表取締役
工藤 裕介様

私の父が会社を立ち上げた時代から、きらやか銀行にはお世話になっております。資金面だけでなく、外注先紹介や就業規則の見直し等、事業全般に幅広く支援していただいております。今後は地元である湯野浜

地区の更なる活性化に向けてこれからも真摯に仕事を行っていきたいと思います。きらやか銀行の本業支援に期待しています。

担当者の声

ともコンとしてとことん寄り添い事業をお手伝いしてまいりました。湯野浜地域を長年担当し、少しでも恩返ししたいと行動する中、お客さまから喜んでいただき、貴重な経験をさせていただきました。今後もお客さまのために取り組んでまいります。

きらやか銀行 大山支店(現:福島支店)
佐藤 友昭主任(ともコン担当職員)



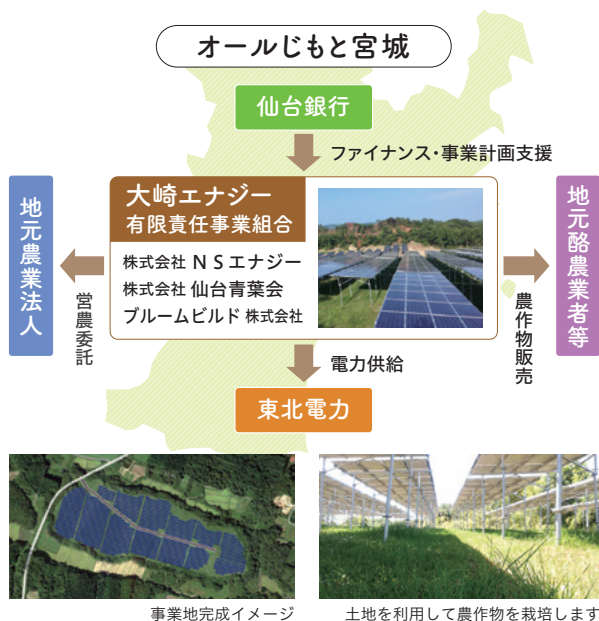
メガソーラーシェアリング事業で地域活性化

～『オールじもと宮城』での取り組み～



仙台銀行は、宮城県大崎市岩出山の農地を有効活用し、太陽光発電事業と牧草等の農作物栽培を両立するメガソーラーシェアリング事業に係るプロジェクト資金のファイナンスを実施しました。

本事業はいずれも当行取引先である株式会社NSエナジー様、株式会社仙台青葉会様、ブルームビルド株式会社様の3社で設立した「大崎エナジー有限責任事業組合」を中心として行われます。



Point 1 『オールじもと宮城』での取り組み

本プロジェクトは、当組合を中心として工事の施工から栽培した農作物の販売まで全工程が地元事業者で行われ、そこに地域金融機関である当行単独でファイナンスを実施した、全国的にも珍しいまさに『オールじもと宮城』での取り組みです。

Point 2 高い環境効果

本事業で建設する営農型太陽光設備の想定年間発電量は、一般家庭約2,057世帯分の年間消費量に相当し、大きなCO₂削減効果が見込まれるなど高い環境効果が期待されます。

地域経済の発展・地元企業のチャレンジを支援
SDGs達成へ向けた積極的な取り組み



株式会社
NSエナジー
代表取締役
日野 修一郎様
(株式会社 日昇工業
代表取締役)

仙台銀行は相談してから回答までのスピードが速く、担当者の熱意が感じられました。今後も仙台銀行のスピード・パワーを発揮してもらえればと思います。



株式会社
仙台青葉会
代表取締役
石月 正美様

今回、仙台銀行単独で実行していただいたことには驚きました。そのおかげでスムーズ・迅速にプロジェクトを進めることができました。



ブルームビルド
株式会社
代表取締役
小関 朋宏様

メインバンクとして一歩踏み込んだ提案をしていただき、仙台銀行に相談して良かったと感じました。今後も相談しながら一緒に成長していければと思います。

担当者の声

本件は、当行では前例のない取組みでしたが、各種機関との連携により実現することができました。今後も、地元企業のため新たな取組みに積極的に挑戦してまいります。

仙台銀行
地元企業応援部
鈴木 拓也 代理



じもとグループのESG・SDGs

じもとグループは、「本業支援」を通じて地元中小企業の成長を支援し、地元経済の発展、地方創生に貢献することを目指しています。私たちは、「本業支援」そのものがESG・SDGsの理念に合致するものと考え、これからもグループ一丸となり取り組んでまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今期のじもとグループのESG・SDGs

じもとグループでは今期新たに取り組んだ31の事例を、ホームページに開示しています。

きらやか銀行



独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構より 「障害者雇用優良事業所」として表彰

きらやか銀行では、障害の状況に応じたきめ細やかな職場配置や業務習得支援に取り組んでおり、障害のある職員21名が本社を中心に活躍しています。今般、これらの取り組みと障害者の職場定着が評価され、「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰」を受賞いたしました。



障害者雇用優良事業所等表彰式

仙台銀行



「みやぎ働き方改革実践企業」へ認証

仙台銀行では、「人で勝負する銀行」の発展に向け、職員が働きやすい魅力ある職場づくりを目指しています。今般、定時退行日の設定や休暇制度の整備など、当行が継続的に行ってきた働き方改革の取り組みが認められ、宮城県より「みやぎ働き方改革実践企業」として認証を受けました。



みやぎ働き方改革
実践企業 2020年度

認証書及び認証マーク

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	2020年 9月期	前年同期比	増減率	2019年 9月期
	連結経常収益	21,329	1,637	8.3
経常利益	1,419	470	49.6	948
親会社株主に 帰属する 中間純利益	64	△ 647	△ 90.9	711

2020年9月期の連結業績は、連結経常収益は213億29百万円、経常利益は14億19百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は64百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

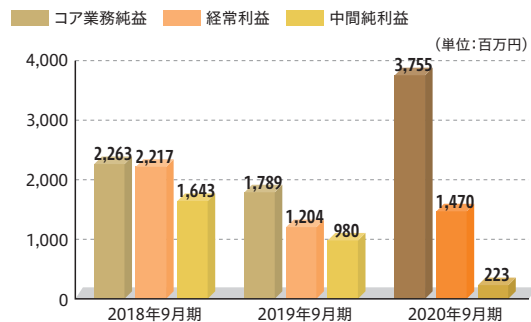
(単位:百万円、%)

	2020年 9月期	前年同期比	増減率	2019年 9月期
	経常収益	18,744	1,409	8.1
業務粗利益	14,051	202	1.4	13,849
経費 (除く臨時処理分)	11,558	△ 469	△ 3.9	12,028
コア業務純益	3,755	1,966	109.9	1,789
除く投資信託 解約損益	2,291	1,113	94.5	1,178
経常利益	1,470	265	22.0	1,204
中間純利益	223	△ 757	△ 77.2	980
貸出金	1,853,111	82,529	4.6	1,770,582
預金等 (譲渡性預金を含む)	2,498,051	182,103	7.8	2,315,948
有価証券	467,358	11,211	2.4	456,147

2行合算の経常収益は、前年同期比14億9百万円増加の187億44百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経常収益の増加に加え、経費が減少したことなどから、前年同期比19億66百万円増加の37億55百万円となりました。

経常利益は前年同期比2億65百万円増加の14億70百万円、中間純利益は前年同期比7億57百万円減少の2億23百万円となりました。



「くるみん」認定取得

2020年6月、山形労働局より「子育てサポート企業」として「くるみん」認定を受けました。

「くるみん」は、従業員の仕事と子育てに関する「一般事業主行動計画」を策定し、計画に定めた目標を達成するなど、一定の基準を満たした企業が認定を受けられるものです。

当行はさらにワーク・ライフ・バランスの充実を図り、男女ともいきいきと働ける企業を目指します。



口振Web伝送サービスの取り扱いを開始

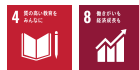


2020年8月より、法人・個人事業主のお客さま向け口振Web伝送サービスの取り扱いを開始いたしました。

専用Webサイトを通じ、お客さまの当行普通預金および当座預金口座から請求金額の引き落としを行うサービスです。定期的にサービス料、会費等が発生する事業者・団体さまの事務負担軽減、コスト削減をお手伝いします。詳しくは、当行窓口までお問い合わせください。

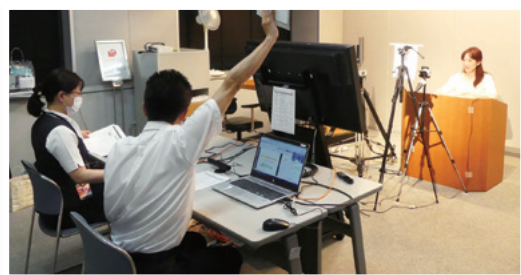


「ふっくりオンラインサロン」開始!



福利厚生サービス「ふっくりパッケージ」会員限定体験サービスの一環として、学びの要素を取り入れたWebセミナーを開催いたしました。

第1回は当行人事課の研修担当者が講師となり「ビジネスマナー講座～応接の基本～」をお送りしました。チャットでリアルタイムに質問を送受信でき、受講者の皆さまから積極的にご参加いただきました。

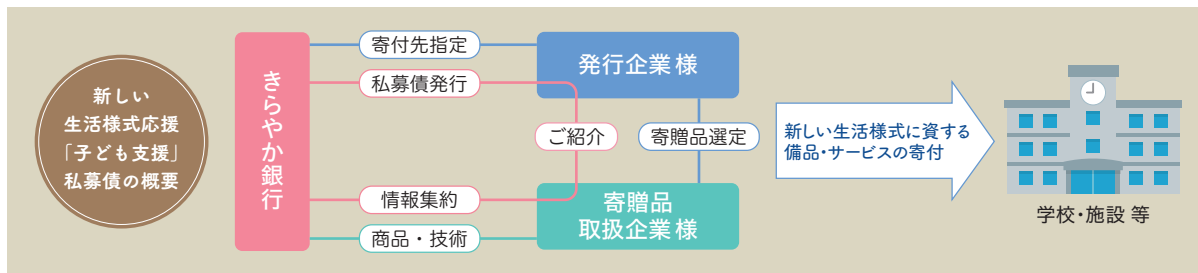


第1回ふっくりオンラインサロン「ビジネスマナー講座～応接の基本～」

新しい生活様式応援『子ども支援』私募債の取り扱いを開始



2020年6月に取り扱いを開始した『子ども支援』私募債は、当行が私募債発行企業から受け取る手数料を一部優遇し、優遇分を原資に、発行企業が子どもの育成に関わる施設へ、感染症の予防・対策等に活用できる物品を贈るものです。発行企業の財務内容の優良性とSDGsの取り組み、また寄贈される製品を製造する中小企業の技術力発信も見据えた商品です。



ATM専用定期『子ども支援』定期預金(個人版)の取り扱いを開始



2019年7月に開始した『子ども支援』定期預金は、新たにATM専用の個人版定期預金の取り扱いを開始しました。預金残高に応じ、山形県内で「子ども食堂」などに取り組む団体に対して寄付を行うものです。定期預金・積金の合計額は2020年7月時点で150億円に達しており、これまでに150万円を寄付しております。

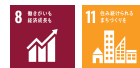


寄付金贈呈式

じもと創生本業支援ファンド2号を組成



2020年8月、当行と日本政策投資銀行は、地方創生に資することを目的に「じもと創生本業支援ファンド2号 投資事業有限責任組合」を組成しました。成長期・成熟期にある地域企業に対し、資本性資金のほか成長資金等の提供を行うことで、地域の雇用維持・創造、地域活性化に貢献します。



白石支店新店舗オープン！～お客さまの利便性向上に貢献～

当行では、2020年10月12日より、白石支店の新店舗での営業を開始いたしました。新店舗は白石の街並みに調和する白を基調とした木造平屋の店舗で、店内は木のぬくもりが感じられる空間となっております。

新店舗で皆さまのご来店をお待ちしております。

白石支店

住 所：白石市字本町3

電話番号：0224-25-5211

営業時間：平日 9:00～11:30, 12:30～15:00



木のぬくもりが感じられる店内



新店舗正面

テイクアウト&デリバリーガイド発行！～お取引先飲食店を支援～

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているお取引先飲食店を支援するため、当行では『テイクアウト&デリバリーガイド』を発行いたしました。本ガイドではお取引先飲食店のテイクアウトやデリバリー可能な商品が多数掲載されており、各営業店に設置するほか、当行ホームページからご覧いただけます。



ホームページ

宮城県内のお取引先飲食店応援企画

133店舗分掲載

TAKE OUT DELIVERY

おうちごはん

WEB版

仙台銀行の取引先の商品がご自宅でお楽しみいただけます。

仙台銀行 テイクアウト&デリバリーガイド

<https://www.sendaibank.co.jp/campaign/pdf/delivery.pdf>

仙台銀行 SBI マネープラザ石巻開設！

当行は、2020年10月2日より、中里支店内において「仙台銀行 SBI マネープラザ石巻」の営業を開始いたしました。

本店にて営業している仙台銀行 SBI マネープラザに次ぐ石巻市への共同店舗の増設により、より幅広いお客さまへ金融コンサルティングサービスのご提供が可能となりました。

当行では今後もお客さま本位のより良い業務運営を実現するため、更なるサービスの向上に取り組んでまいります。

仙台銀行SBIマネープラザ石巻

住 所：石巻市中里1丁目3-3(仙台銀行中里支店内 2階)
 電話番号：0225-21-8253
 営業時間：平日 9:00～15:00



オープニングセレモニーの様子



中里支店2階で営業しております

新型コロナウイルス感染症に関する対応



新型コロナウイルス感染症の影響を受けられている事業者・個人の皆さまを支援するため、各種相談窓口等の対応を継続しております。

また、ご来店いただくお客さまや当行職員の感染防止のため、飛沫防止パネル等の設置の他、定期的な換気を行うなどの対策に取り組んでおります。

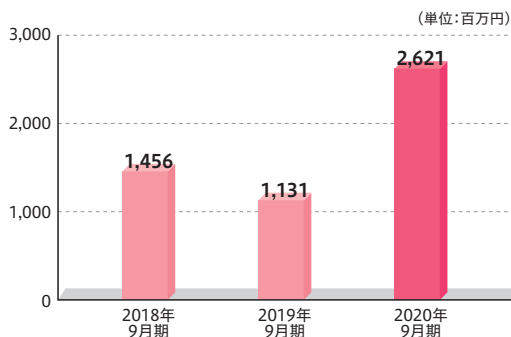
事業者向け	設置場所等		受付時間	
	窓口でのご相談	各営業店(出張所を除く)	平日 9:00～15:00	
	電話でのご相談	022-225-8281(特別相談ダイヤル)	平日 9:00～17:00	
個人向け	ご相談内容	フリーダイヤル	設置場所	受付時間
	住宅ローン関係	0120-300-039	本店住宅ローンプラザ	平日 9:00～19:00 日曜 10:00～17:00
		0120-436-039	泉住宅ローンプラザ	土曜 10:00～17:00
個人向けローン関係 (住宅ローン以外)	0120-600-039	ダイレクト マーケティングセンター	平日 9:00～19:00	

(2020年11月末現在)

業績ハイライト(単体)

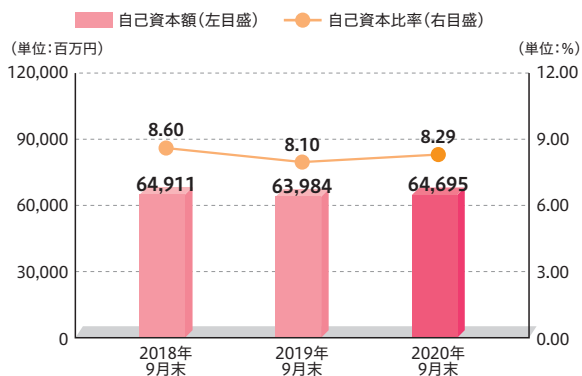
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことに加えて、経費が前年同期比で3億89百万円減少したことなどから、前年同期比14億89百万円増加の26億21百万円となりました。



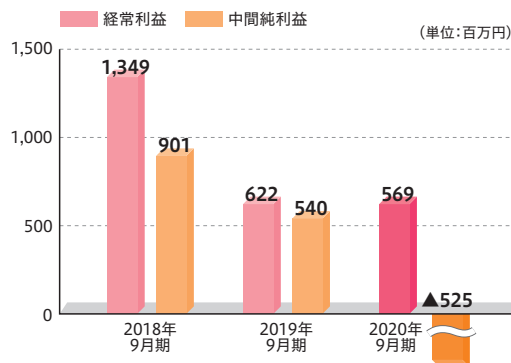
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、リスクアセット(分母)が減少したことなどから、2019年9月末比0.19ポイント上昇し8.29%となりました。



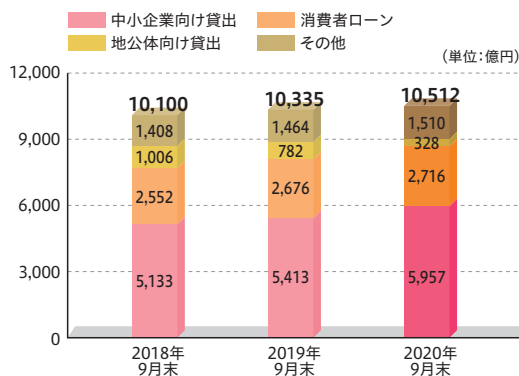
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は前年同期比53百万円減少の5億69百万円となりましたが、繰延税金資産の取崩しに伴って法人税等調整額を10億3百万円計上した結果、中間純利益は前年同期比10億66百万円減少し、5億25百万円の赤字となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことなどから、2019年9月末比176億96百万円増加の1兆512億89百万円となりました。

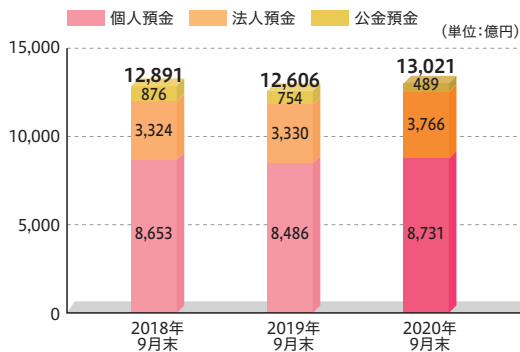


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

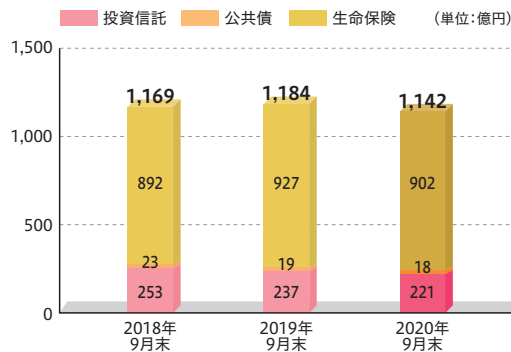
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金、法人預金ともに増加し、2019年9月末比414億80百万円増加の1兆3,021億52百万円となりました。



預かり資産の状況

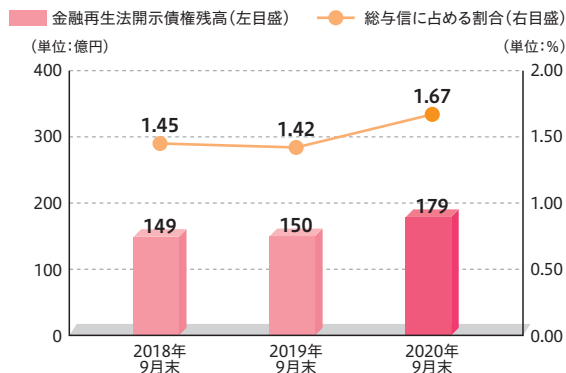
預かり資産残高は、新型コロナウイルスの影響等によりお客様の運用ニーズが弱まったことなどから、2019年9月末比42億47百万円減少の1,142億6百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、2019年9月末比29億28百万円増加の179億63百万円となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



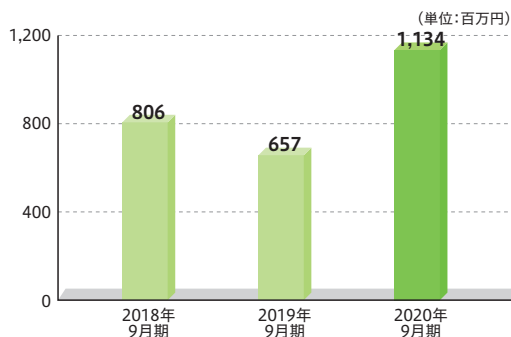
■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

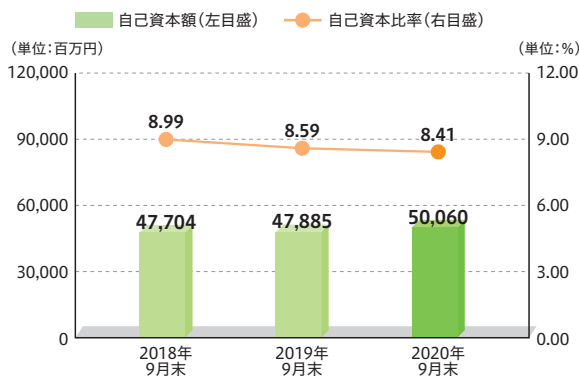
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利の増加等により資金利益が増加したことに加え、経費が減少したことなどから、前年同期比4億76百万円増加の11億34百万円となりました。



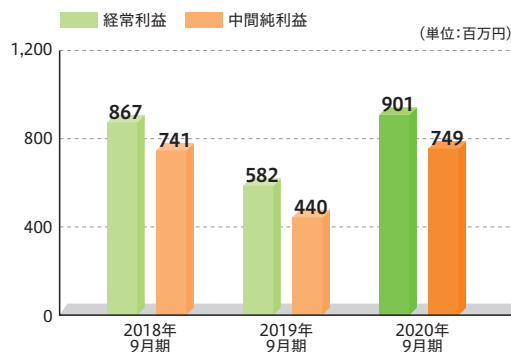
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、中間純利益を7億49百万円計上したことなどにより自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加などに伴いリスクアセット(分母)が増加したことから、2019年9月末比0.18ポイント低下の8.41%となりました。



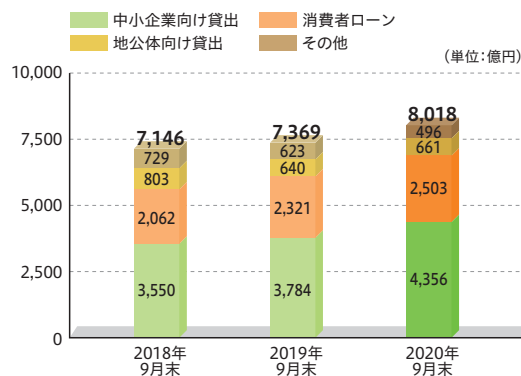
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は前年同期比3億18百万円増加の9億1百万円、中間純利益は前年同期比3億8百万円増加の7億49百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症関連の資金需要へ積極的に対応し、中小企業向け貸出が増加したことなどから、2019年9月末比648億32百万円増加の8,018億21百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

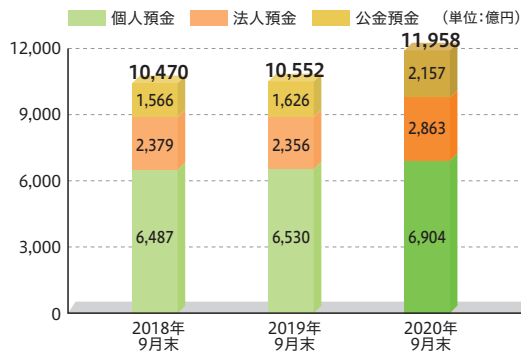


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

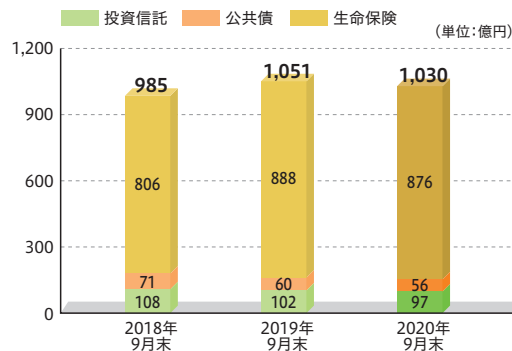
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金、法人預金及び公金預金の増加により、2019年9月末比1,406億22百万円増加の1兆1,958億99百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、生命保険残高が減少したことなどから、2019年9月末比20億85百万円減少の1,030億56百万円となりました。

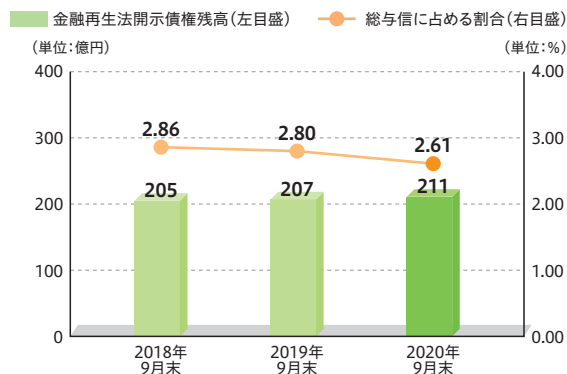


金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、2019年9月末比4億2百万円増加の211億45百万円となりました。

総与信額に占める割合は、2019年9月末比0.19ポイント低下の2.61%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 【公告掲載ホームページアドレス】 https://www.jimoto-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でも取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。 〈未払配当金のお支払に関するご注意〉 支払開始の日より満5年を経過してもお受け取りにならないときは、お支払できなくなりますので、お早目にお受け取りください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 **0120-288-324**

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、2020年分の確定申告の参考資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、2020年分の確定申告の参考書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 じもとホールディングス

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
Tel.022-722-0011（代表）
<https://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
Tel.023-631-0001（代表）
<https://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
Tel.022-225-8241（代表）
<https://www.sendaibank.co.jp/>